

旬です！筑西のいちご

糖度と酸味のバランスが良く、真っ赤な見た目もキウイな筑西のいちごは、まるで「赤い宝石」です。市では、地元農産物の高付加価値化の推進と産地活性化のため、市内のいちご生産・出荷4団体を「筑西ブランド」として認証しています。



いちごの旬は12月～5月です！栄養たっぷり、甘くてジューシーな筑西のいちごを、ぜひ召し上がってください。

筑西ブランドのいちごの購入はこちらの販売所で！

営業時間や定休日など、詳細はホームページをご覧ください。



このマークが目印！

- ①道の駅グランテラス筑西
- ②ファーマーズマーケット きらいち筑西店
- ③パティスリーラシーヌ (有)ファームオアシス
- ④協和施設園芸協同組合 (K E K) 協和直売店



旅番組（とちぎテレビ『U字工事の旅！発見』）の収録のために筑西市を訪れた2人。



貸し切りのハウスで、安心していちご狩りを楽しんでください。

ストロベリーランド筑西代表 石川 正吾さん

ストロベリーランド筑西は、道の駅グランテラス筑西の開業直後、道の駅併設型の観光農園としてオープンしました。ここでは、「とちおとめ」、「やよいひめ」といった主流の品種のほか、茨城県のオリジナルブランドの「いばらキッス」や「ひたちひめ」など、さまざまな品種のいちごを栽培しています。食べ比べてみて、自分のお気に入りを探してみると面白いと思います。

今シーズンは新型コロナウイルスの影響により、昨シーズンと比べて来場者数が落ち込んでいます。当園では、グループごとに貸し切りでハウスを用意するため、ほかの来場者と接触することなく、いちご狩りを楽しむことができます。ご家族や友人と、安心していちご狩りを楽しんでいただきたいです。

まだまだ先の見通せない不安な日々が続きますが、道の駅グランテラス筑西にお越しの際には、ぜひご来園ください。



茨城県オリジナルブランドは、いちご王国栃木県出身の2人からも好評でした。

文化発信の拠点として高まる期待

廣澤美術館 開館



廣澤美術館概要

- 敷地面積：9837.31㎡
- 建物構造：鉄筋コンクリート造（地上1階建）
- 建物面積：611.56㎡
- 延床面積：498.00㎡
- 建物設計：隈研吾
- 庭園整備：齊藤忠一 宮城俊作
- 庭園命名：中西進
- 左官工事：狹土秀平

開館記念企画展として、『棟方志功と民芸の仲間たち展』を開催中。企画展チケット（一般1,000円）で、芸術の森分館、つくは野館、石の美術館、歴史館も鑑賞できます。



テラスから浄の庭を望む。浄の庭は日本を代表する作庭家、齊藤忠一氏によって整備。



エントランス 巨大な岩に囲まれ、筑波山を背景に望む圧巻の姿。

3つの庭が織り成す自然との調和

1月2日、ザ・ヒロサワ・シテイ（茂田）に、廣澤美術館が開館しました。建物の設計は、新国立競技場などを手がけた建築家、隈研吾氏で、1500個（6千ト）もの巨大な岩に囲まれた、特徴ある建物です。また、本館を囲む庭園は、それぞれ「浄の庭」、「炎の庭」、「寂の庭」、これら3つの総称を「つくは野の庭」と命名されました。命名したのは、万葉集研究の第一人者で元号「令和」の考案者となる国文学者、中西進氏です。日本を代表する人たちに



企画展『棟方志功と民芸の仲間たち展』をU字工事の2人も鑑賞しました。



年間1000人を案内する ちくせい観光ボランティアガイド協会 諏訪 光一 会長

廣澤美術館の開館により、しもだて美術館、板谷波山記念館との周遊が生まれ、筑西市が芸術に特化したまちであることを今まで以上に自信を持って案内できるようになりました。観光客に、これまで以上に筑西市を満足してもらえと思っています。今後行われる作品展にも期待したいですね。